



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

新市役所建設にあたって 聴覚障害者目線による要望

平成 33 年度の竣工をめざして唐津市、鳥栖市、神崎市で新しい市役所の建設に着手されています。基本設計、詳細設計、建築工事着工の段取りとなります。まず、ユニバーサルデザイン、バリアフリー化等障害者にも十分配慮するという基本的な考え方を十分論議されることが必要です。後付けの変更等になると工事費が更に増嵩します。センターでは地元の当事者団体や情報支援者と一緒に各市の庁舎建設担当課・室長に聴覚障害者目線による要望を、鳥栖市 7 月 31 日、神崎市 8 月 7 日に中村参事・佐通研松尾会長が要望、唐津市は 8 月 21 日に障害者団体及び新庁舎建設室、市議会事務局計 23 名が当センターで視察学習会をされた折に併せて要望しました。

○ 聴覚障害(者)の特性とコミュニケーション手段

- ・見た目、外見上障害があるようには見えません。
- ・もっぱら視覚を中心に情報を得ます。



- ・聴力を失った時期により、ろう者、難聴、中途失聴者、加齢性難聴者など、それぞれ手話、要約筆記、筆談、補聴器装用によるコミュニケーション手段が必要です。

- 障害者差別解消法が平成 28 年 4 月 1 日施行され、聴覚障害者が健聴者(聞こえる人)と同様の情報保障を要求した場合には、いわゆる合理的配慮をすることが行政には義務づけられています。さらに議員提案による手話言語条例の制定をめざし、県議会で審議されています。

<<新庁舎建設にあたって聴覚障害者目線による要望事項～平常時と非常時・緊急事態発生時～>>

緊急時

- 地震発生時に想定される事故例
 - ・エレベーターの停止、閉じ込め
 - ・火災等の二次災害
 - ・停電、余震等によるパニック
- 災害情報の伝達・避難誘導への対応は、建築基準法の規定に基づくものに加えて次のような視覚化が必要。
 - ・デジタルサイネージ、電光掲示板
 - ・誘導灯
 - ・光警報装置
 - ・タブレット
 - ・点滅機能フラッシュライト
 - ・スマートフォンアプリ
 - ・クリップボード(支援ボード)

- 受付、案内・・・手話通訳者の配置
筆談用具設置
- 案内板・・・分かりやすく大きな文字表示
照明は明るくする
- 市勢紹介、展示室・・・モニターに字幕表示
音声ガイドは文字表示併設
- 難聴者がよく利用する会議室等・・・FM 補聴システム
赤外線補聴システム、磁気誘導ループ
UD トーク、スピーカーシステムの設置
- エレベーター・・・緊急停止時の外部との連絡設備
ドアの一部をスリットガラス使用

平常時

- ◎ 聴覚障害者対応訓練・・・火事、地震の際のパニック状態にある場合、エレベーターに閉じ込められている場合、ケガや体調不良が発生した場合等を想定した職員の対応訓練を繰り返し行い、落ち着いて対応することが必要です。
- ◎ 聴覚障害者にとっては、多数の人がいるが、火災・地震の発生を知らせてくれるような健聴者の知人・同僚・友人等と一緒にいるとは限らない場所は最も不安です。トイレ、エレベーター等、一人になる場所も同じです。

維新博メイン会場を観覧＝必要な手話通訳者の常在＝

手話通訳者現任研修の講師・近藤 龍治さん(ろう者・香川県聴覚障害者協会会長)が維新博を観覧された感想です。

一人で行きました。聞こえない人への配慮はできていました(筆談で対応してくれた)。「字幕もついていきますから」ととても嬉しく思いました。が…映像や劇のみ、スタッフからの話し声は筆談がなかったので分かりづらかったです。葉っぱの形をした紙のこと、展示・お土産売り場では筆談対応がスムーズではありませんでした。「もっと歴史を知りたい、佐賀の昔はこうだったのかと知りたい」と思っても筆談だけでは不十分だと思います。手話通訳が常時いることで、いつでも聞きたいことが聞けるような対応があれば嬉しく思います。(8/24)



シリーズ (10)

山口相談医のひと言コメント

感音性難聴について

内 耳の蝸牛と呼ばれる部分から脳に至る経路の何処かに異常が有る事で聞こえにくくなるのが、感音性難聴です。音の伝わりに異常がなくても、それを感じ取ることが出来ないと難聴となります。検査で「骨導聴力」が悪くなっているものです。

原 因となるものとして、突発性難聴、外リンパ瘻（ダイビング、りきみなど）、メニエール病、急性低音障害型難聴、騒音性難聴（船の機関室勤務など）、薬剤性難聴（結核の治療薬など）、ウイルス感染（ムンプス難聴、耳带状疱疹）、年齢による変化（老人性難聴）、聴神経腫瘍などいろいろなものがあります。

突 発性難聴や外リンパ瘻などは、適切な時期に適切な治療を受けることで治る見込みがありますが、ムンプス難聴や、加齢による難聴は非常に難しいと言われます。神経の再生、回復は物理的な状態の改善だけでは上手くいかないの

何 より予防が大切です。具体的には、疲労をためないように、睡眠・食事をしっかりとること、大きな音を聞く機会をできるだけ少なくすること（ヘッドホン、イヤホンで大きな音を控えるなど）などです。なってしまった場合は、程度にもよりますが、補聴器、あるいは人工内耳に頼ることになります。



佐賀みみサポ 写真コンテスト 結果発表

課題部門「春」☆ 審査員特別賞

「お土産とるのに忙しい」

堀 千賀さん



ハチが止まった瞬間、タイミングを逃さず見事に撮影している。ハチの位置、枝を入れているところ、ピントもあっていて全て Good!



自由部門 ☆ 審査員特別賞

「やっぱり似とる」

江頭 京子さん

ほのぼのとした良い写真。可愛い赤ちゃんの手が切れてしまっているのが残念。



● ● ● センター長賞 ● ● ●

7600年の夢まぼろし
川原 武さん



「鳥居何本あんなん」
吉田 康子さん

お知らせ

● スマホでも撮れる写真講座（組写真・バルーン）

日時：9月30日（日）午後1時半～（要申込）

場所：佐賀県聴覚障害者サポートセンター

対象：県内在住の聴覚障害者及び情報支援者



● 聴覚障害者社会参加促進（高塚地蔵尊・日田散策コース）

日時：10月4日（木）午前8時30分集合

行程：高塚愛宕地蔵尊、天ヶ瀬慈恩の滝など

対象：県内在住の聴覚障害者

締切：9月25日（火）※定員になり次第締切



● 巡回聴こえの相談（難聴者）in 佐賀市大和町

日時：10月24日（水）午前10時～午後3時（要予約）

場所：佐賀市役所大和支所3階

編集後記：春夏秋冬 美しい四季がなくなりませんように。Kiyo

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12（佐賀商工ビル4階）

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

今年も写真コンテストを開催します！

第2回 聴覚障害者・情報支援者による

佐賀国際ナショナルバルーンフェスタ写真コンテスト

応募のルールは、ホームページに掲載している「作品募集要項」をご覧ください。

祝 手話によるスピーチコンテスト 3位入賞



「見えない溝」小学1年の時に手話と出会い、地元サークルでろう者の先生と交流を重ねる中、自身も無意識に「溝」を作っていたこと。手話通訳士になり『聞こえる人に正しい知識を広める』ことが自分の使命、これからも努力し続けるとスピーチ。佐賀県から本大会選出・入賞したのは十数年振りである。

吉村義誠さん（東明館高校2年・基山町）

<開館時間>

9：30～18：00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日